

2027年 3月期 第 1 四半期決算補足説明資料

高千穂交易株式会社（証券コード：2676）

2026年 8月 5日

1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

【参考資料】 中期経営計画 2025 – 2027

<https://corp.takachiho-kk.co.jp/Portals/0/images/ir/management/plan/plan2025-2027.pdf>

1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

エグゼクティブサマリー

[単位：百万円]



✓ 2027年3月期 第1四半期 <実績>

✓ ビジネスセキュリティセグメントの好調により、前年同期比で増収増益

- ・ **ビジネスセキュリティ**：リテールソリューションは家電量販店、ドラッグストア向けが好調
ビジネスソリューションは外資系のオフィス向け好調、サブスクビジネスも着実に増加
グローバルはデータセンター向けセキュリティシステムが好調
- ・ **エレクトロメカニクス**：エレクトロニクスは産業機器向け、アミューズメント向け好調
メカニクスはインダストリアルマシンの半導体製造装置向け、キッチン向け企画開発品が好調

✓ 2027年3月期 <計画>

- ✓ 期初計画から変更なし、例年どおり2Q・4Q偏重の傾向
- ✓ 好調なビジネスセキュリティセグメントが牽引し、計画達成を目指す。

	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	増減	2027年3月期 計画	進捗率
売上高	6,068	6,993	+924	32,000	21.9%
営業利益	183	347	+163	2,350	14.8%
経常利益	167	408	+240	2,300	17.7%
当期純利益	68	210	+141	1,650	12.7%

1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結業績ハイライト

[単位：百万円]



ビジネスセキュリティセグメントの好調により増収増益

	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	前年同期比	2027年3月期 通期計画	進捗率
売上高	6,068	6,993	+15.2%	32,000	21.9%
売上総利益	1,451	1,819	+25.4%	8,300	21.9%
売上総利益率(%)	23.9%	26.0%	+2.1pt	25.9%	—
販管費	1,267	1,472	+16.2%	5,950	—
営業利益	183	347	+89.1%	2,350	14.8%
営業利益率(%)	3.0%	5.0%	+1.9pt	7.3%	—
為替差益	—	18	—	—	—
為替差損	76	—	—	—	—
経常利益	167	408	+143.8%	2,300	17.7%
経常利益率(%)	2.8%	5.8%	+3.0pt	7.2%	—
税引前利益	167	408	+143.8%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	68	210	+205.7%	1,650	12.7%
EPS	3.69円	11.24円	+7.55円	88.33円	—

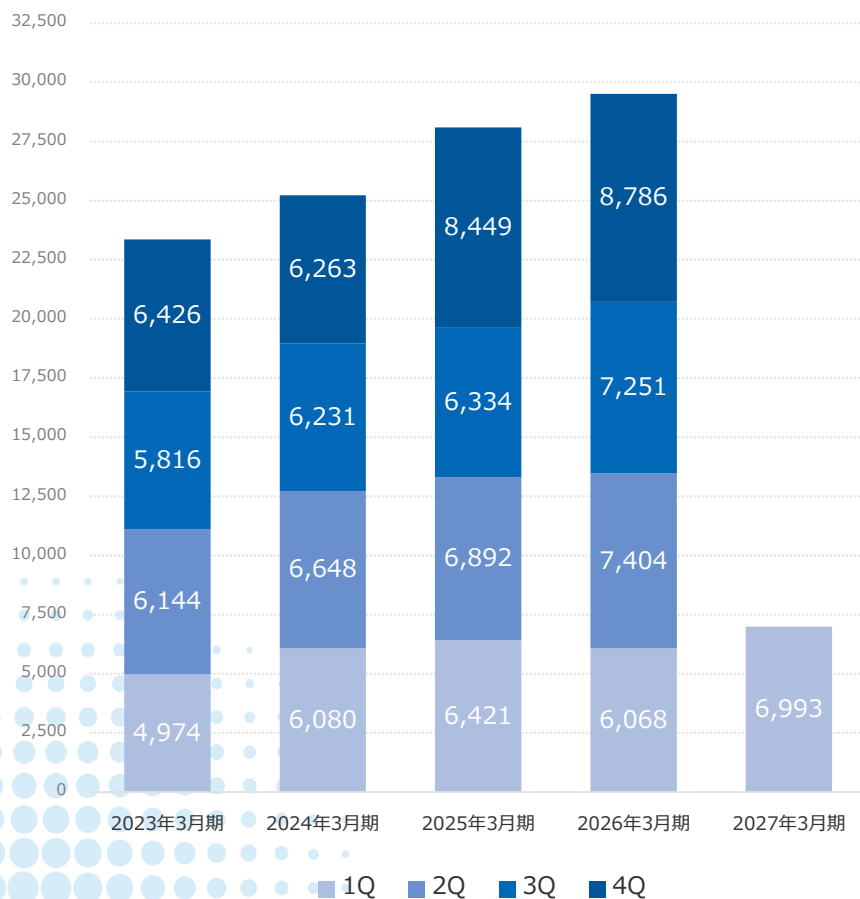
四半期別構成比率

[単位：百万円]

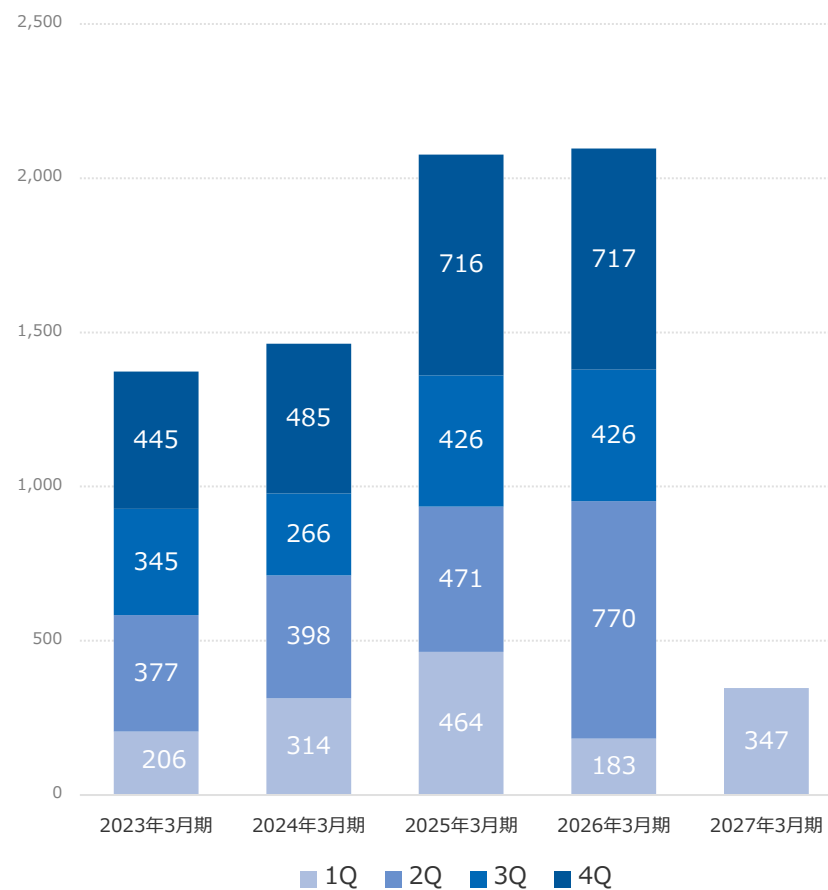


主にビジネスセキュリティセグメントの製品は設備投資の対象であることが多く、
顧客の投資時期に伴い、業績は4Q・2Q偏重の傾向

■ 四半期別売上高



■ 四半期別営業利益



セグメント別業績

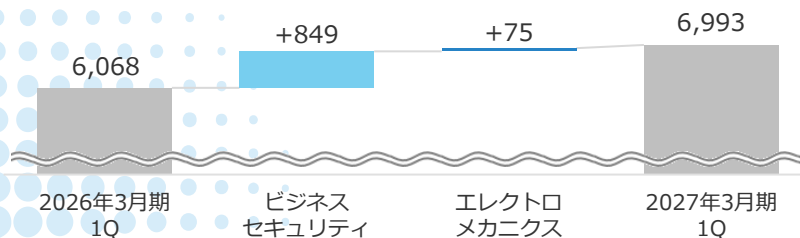
[単位：百万円]



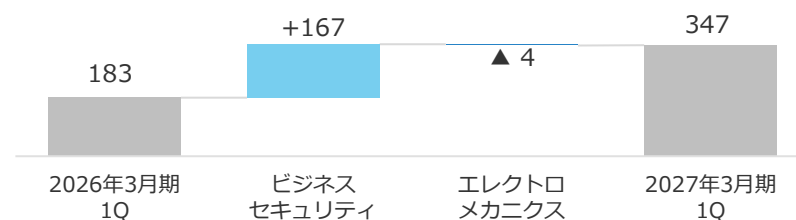
ビジネスセキュリティはビジネスソリューション、グローバルが好調で増収増益
 エレクトロメカニクスは増収となるも、販管費増加を補えず減益

		2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	増減額	増減率	2027年3月期 計画	進捗率
ビジネスセキュリティ	売上高	2,876	3,726	+849	+29.5%	16,490	22.6%
	営業利益	117	284	+167	+143.3%	1,580	18.0%
	営業利益率(%)	4.1%	7.6%	+3.6pt	-	9.6%	-
エレクトロメカニクス	売上高	3,191	3,266	+75	+2.4%	15,510	21.1%
	営業利益	66	62	▲4	▲6.1%	770	8.1%
	営業利益率(%)	2.1%	1.9%	▲0.2pt	-	5.0%	-
連結合計	売上高	6,068	6,993	+924	+15.2%	32,000	21.9%
	営業利益	183	347	+163	+89.1%	2,350	14.8%
	営業利益率(%)	3.0%	5.0%	+1.9pt	-	7.3%	-

■ 売上高（前年同期比）



■ 営業利益（前年同期比）



セグメント別業績（ビジネスセキュリティ）

[単位：百万円]



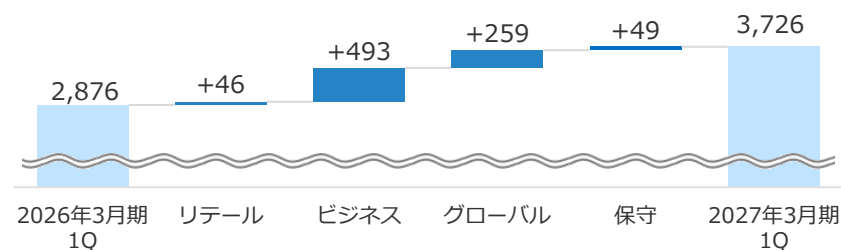
売上高 3,726 百万円 前期比 +849百万円

ビジネスソリューションで外資系のオフィス向けに入退室管理システムが好調、サブスクリプション型ビジネスの積み上げ

営業利益 284 百万円 前期比 +167百万円

ビジネスソリューション、グローバルの増収による利益率改善

【売上高 増減要因（前期比）】



● リテールソリューション

(+) 家電量販店向けに商品監視システムの大型案件やドラッグストア向けに監視カメラシステムが好調

● ビジネスソリューション

(+) 外資系企業のオフィス向けに入退室管理システムが好調、サブスク型のマネージドサービスやクラウドライセンスが着実に増加

● グローバル

(+) タイでデータセンター向けセキュリティシステムが好調

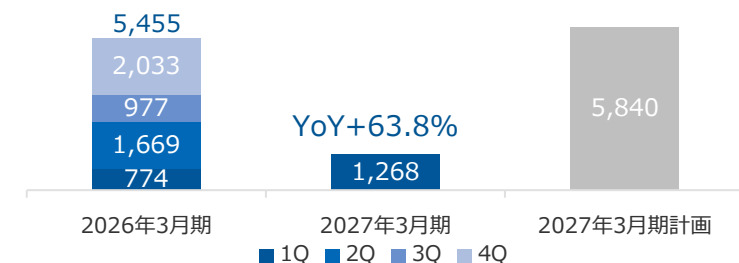
● 保守サービス

(+) 新商品・新サービス拡販に伴う導入サービス・サポートが拡大

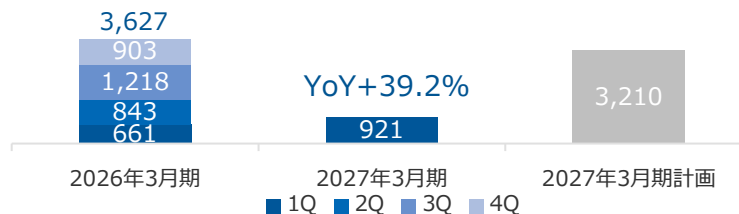
● リテールソリューション



● ビジネスソリューション



● グローバル



● 保守サービス

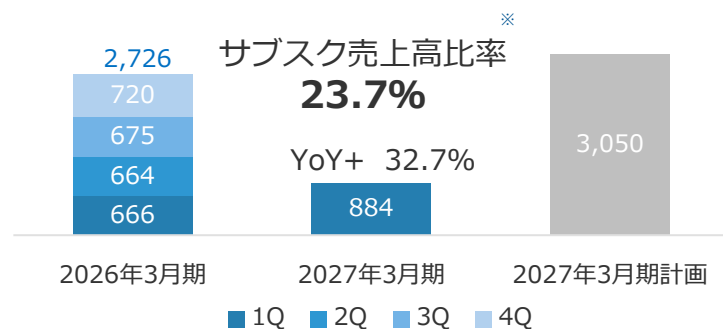


サブスクリプション型ビジネスの実績（ビジネスセキュリティ）



[単位：百万円]

サブスクリプション型ビジネスの売上高



※ビジネスセキュリティセグメントの売上高に占める構成比

● 保守

(△) 一部取り扱い製品のメーカーサポート終了に伴う保守終了

● マネージドサービス

※「機器・クラウドサービス・運用管理」が一体となったMSPサービス

(+) メーカーEOLに伴うリプレイス特需により、代理店向け機器販売が増加 ※ EOL:製品やサービスの販売・サポート終了

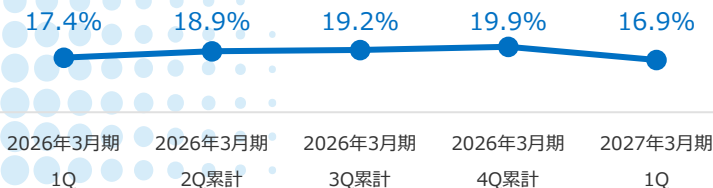
● クラウドライセンス

(+) Merakiなどライセンス数の積み上げ

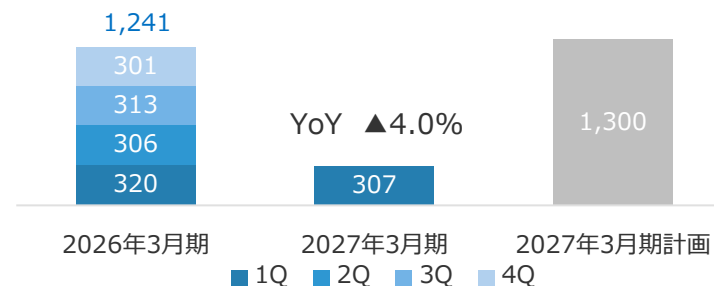
Verkada、Halcyonなど注力商材の実績化

サブスクリプション型ビジネスの営業利益率

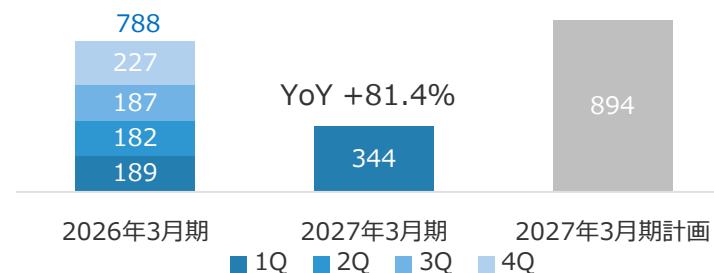
マネージドサービスにおいてEOLに伴うリプレイス特需により、代理店向け機器販売増加の影響で低下



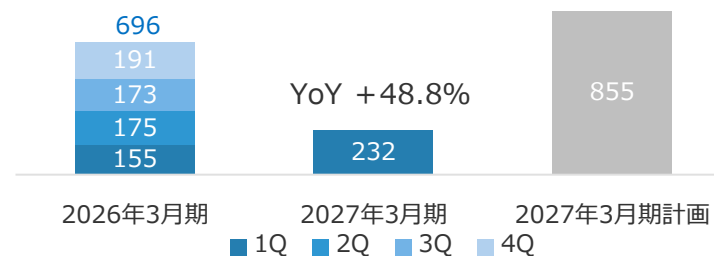
● 保守



● マネージドサービス



● クラウドライセンス



セグメント別業績（エレクトロメカニクス）

[単位：百万円]



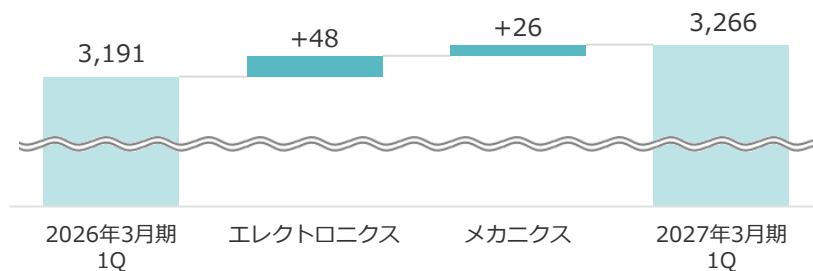
売上高 3,266 百万円 前期比 +75百万円

エレクトロニクスは半導体製造装置などの産業機器向けやアミューズメント向けが好調、メカニクスは半導体製造装置向け、キッチン向け企画開発品が好調

営業利益 62 百万円 前期比 ▲4百万円

成長投資による販管費増加により微減

【売上高 増減要因（前期比）】



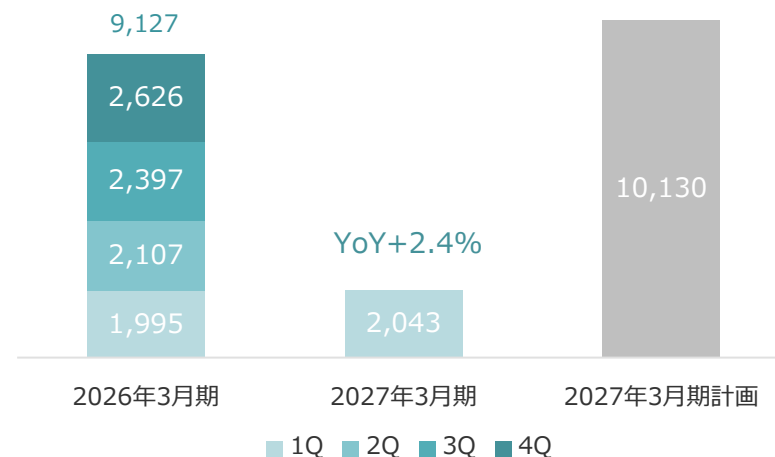
● エレクトロニクス

- (+) 産業機器、アミューズメント向けが好調
→ 産業機器は主に半導体製造装置向けが好調
- (△) 受注は好調に推移するも、納期長期化の影響により売上高の伸びは限定的

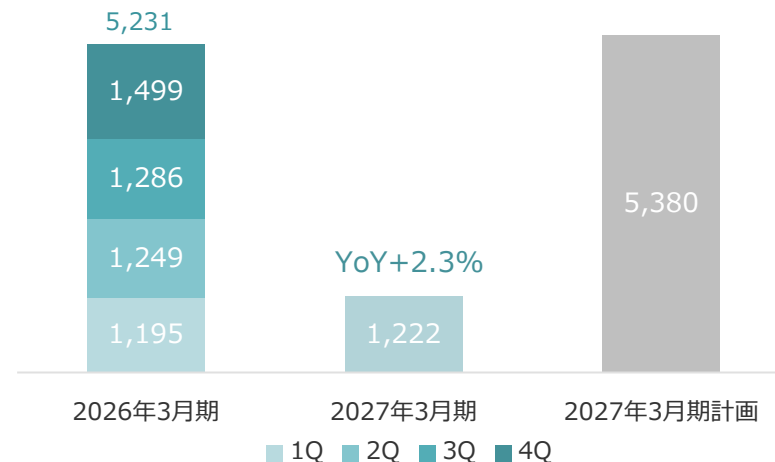
● メカニクス

- (+) インダストリアルマシン、住宅設備向け機構部品
→ インダストリアルマシンは半導体製造装置向け好調
住宅設備向けはキッチン向け企画開発品が好調

● エレクトロニクス



● メカニクス



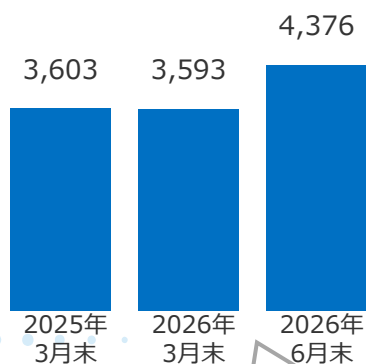
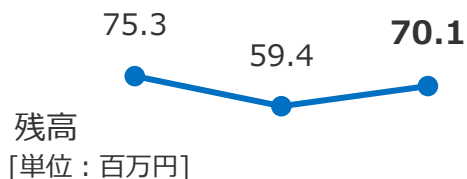
資本効率改善状況



在庫を適正水準まで抑えるべく、受注残の取り込み・発注コントロールを強化
債権・債務はキャッシュフロー改善に向けて取引条件の見直しを推進

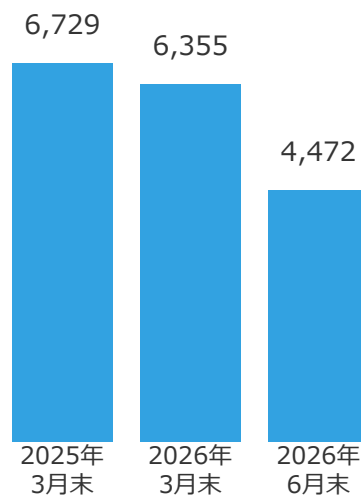
棚卸資産

回転日数



主にエレクトロニクスにおいて納期長期化や製品値上げに備えた事前発注により増加

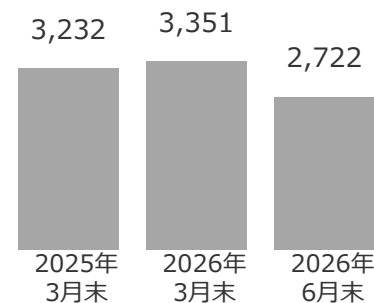
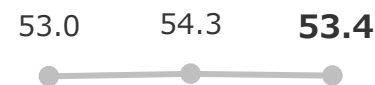
売上債権



[計算式]

- ・ 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- ・ 売上債権回転日数 = 売上債権（期首・期末の平均残高）÷ 売上高 × 日数
※ 売上債権 = 売掛金 + 受取手形 + 契約資産 + 電子記録債権 ▲ 契約負債（前受金）
- ・ 仕入債務回転日数 = 仕入債務（期首・期末の平均残高）÷ 売上原価 × 日数
- ・ 日数・・・3月末は365日で計算、6月末は91日で計算

仕入債務



1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結PL＜計画＞

[単位：百万円]



成長投資や企業認知度向上、製品プロモーション等の広告施策により販管費は増加するものの、
営業利益及び当期純利益は上場来最高増益を更新する計画

	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	増減額	前期比
売上高	29,510	32,000	+2,489	+8.4%
売上総利益	7,383	8,300	+916	+12.4%
売上総利益率(%)	25.0%	25.9%	－	+0.9pt
販管費	5,285	5,950	+664	+12.6%
営業利益	2,098	2,350	+251	+12.0%
営業利益率(%)	7.1%	7.3%	－	+0.2pt
経常利益	2,408	2,300	▲108	▲4.5%
経常利益率(%)	8.2%	7.2%	－	▲1.0pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,415	1,650	+234	+16.6%
ROE(%)	8.2%	9.3%	－	+1.1pt
EPS	75.88円	88.33円	+12.45円	－
1株当たり年間配当金	76.0円	76.0円	+0.0円	－

セグメント別 売上高・営業利益＜計画＞

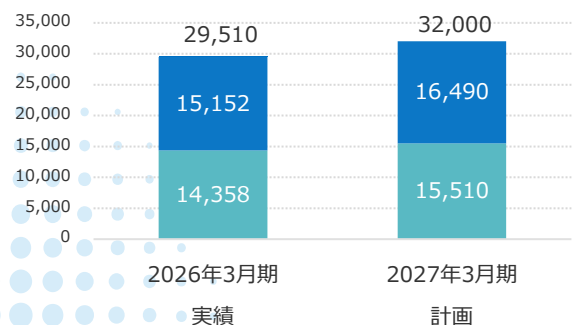
[単位：百万円]



ビジネスセキュリティ、エレクトロメカニクスともに増収増益の計画

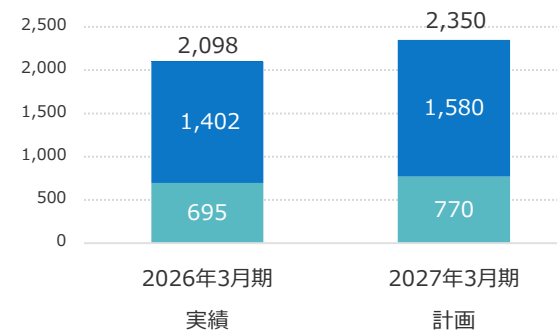
		2026年3月期 実績	2027年3月期 計画	増減額	増減率
ビジネスセキュリティ	売上高	15,152	16,490	+1,337	+8.8%
	営業利益	1,402	1,580	+177	+12.6%
	営業利益率	9.3%	9.6%	+0.3pt	—
エレクトロメカニクス	売上高	14,358	15,510	+1,151	+8.0%
	営業利益	695	770	+74	+10.7%
	営業利益率	4.8%	5.0%	+0.2pt	—
連結合計	売上高	29,510	32,000	+2,489	+8.4%
	営業利益	2,098	2,350	+251	+12.0%
	営業利益率	7.1%	7.3%	+0.2pt	—

■ セグメント別売上高



■ ビジネスセキュリティ ■ エレクトロメカニクス

■ セグメント別営業利益



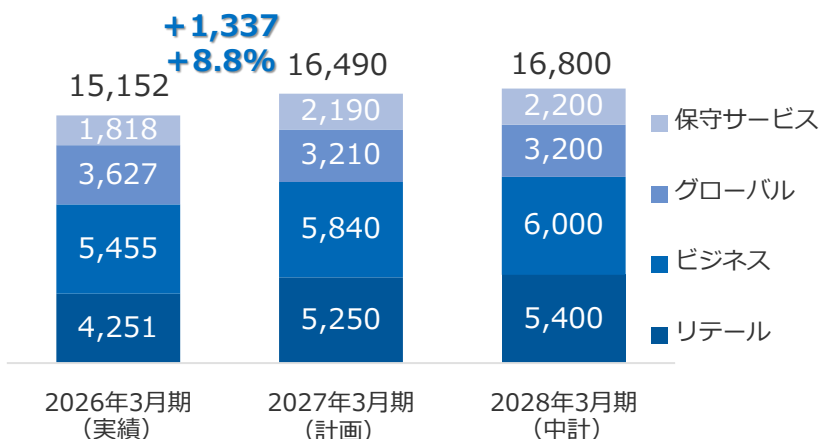
■ ビジネスセキュリティ ■ エレクトロメカニクス

ビジネスセキュリティ<計画>

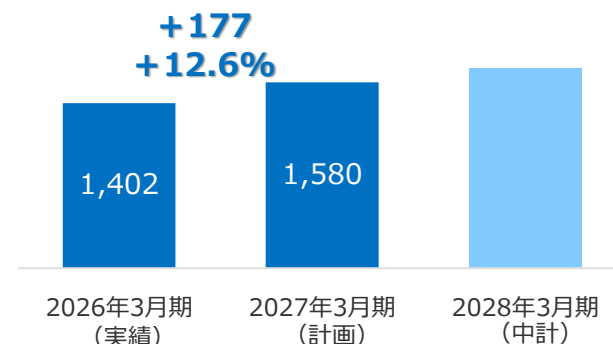
[単位：百万円]



■ セグメント売上高



■ セグメント営業利益



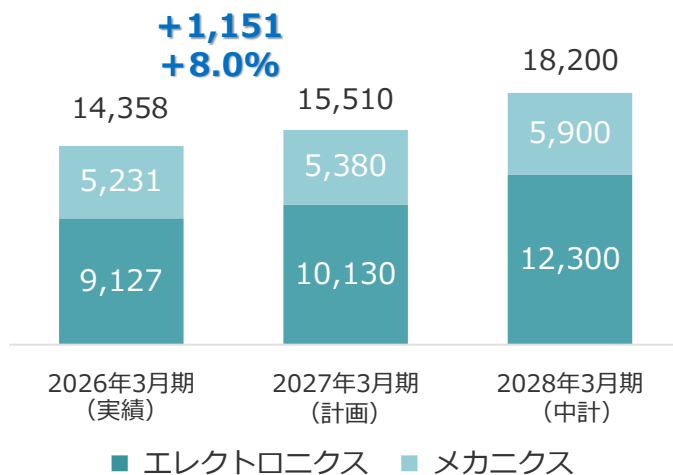
サブセグメント	前期差	主な要因
リテールソリューション	+998	・ アパレル向けRFIDシステムの導入拡大 ・ GMS、ドラッグストア、SC、専門店等へ顔認証システムや監視カメラシステムの拡販
ビジネスソリューション	+384	・ データセンター、外資系オフィス向けセキュリティシステムの拡販 ・ MSPサービスやクラウドライセンス等のサブスクリプション型ビジネスの拡大
グローバル	▲417	・ 収益性の高い案件に注力
保守サービス	+371	・ 新規保守契約の獲得、及び価格改定による増収を見込む ・ 新商品・新サービス拡販に伴う導入サービス・サポートの拡大

エレクトロメカニクス<計画>

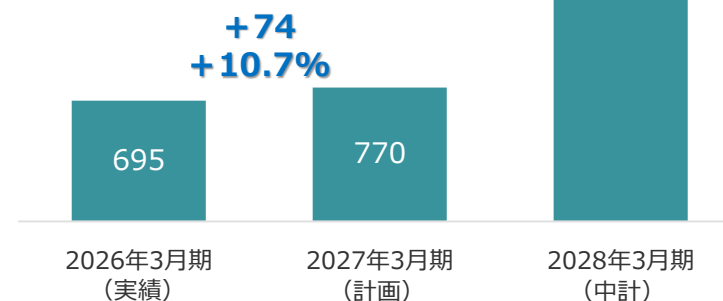
[単位：百万円]



■ セグメント売上高



■ セグメント営業利益



サブセグメント	前期差	主な要因
エレクトロニクス	+1,002	- 新たに光関連製品の取扱い開始に伴う売上増加 - 産業機器の中で半導体製造装置向けの増加
メカニクス	+148	- 住宅設備向け機構部品において、企画開発品の新規採用、シェア拡大 - 工場の生産設備等の産業機器向けの拡販

株主還元



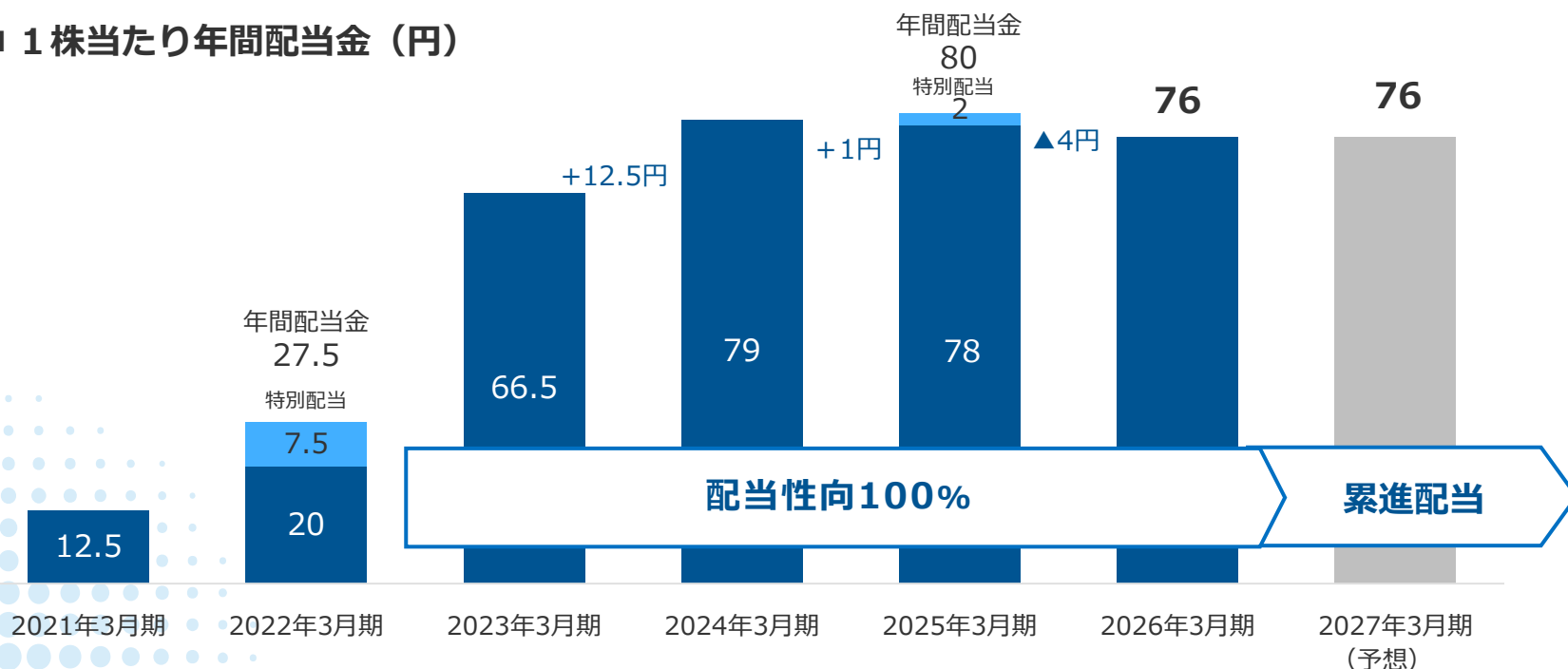
- 2026年3月期の年間配当金は減益により**前期比4円減配の76.0円**
- 2027年3月期の年間配当金は累進配当により**前期と同額の76.0円**の予想

中期経営計画 2025-2027 配当方針

資本政策の方針である「成長投資と株主還元の両立」に基づき、

- 財務健全性を確保しながら、積極的な投資による事業成長を目指す
- 2026年3月期は配当性向100%、2027年3月期以降は累進配当制を導入**

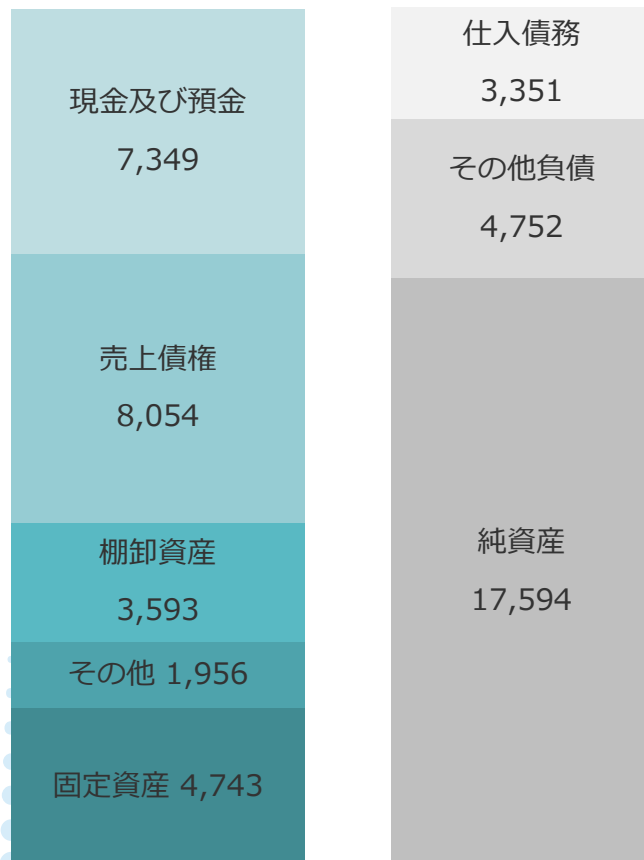
■ 1株当たり年間配当金（円）



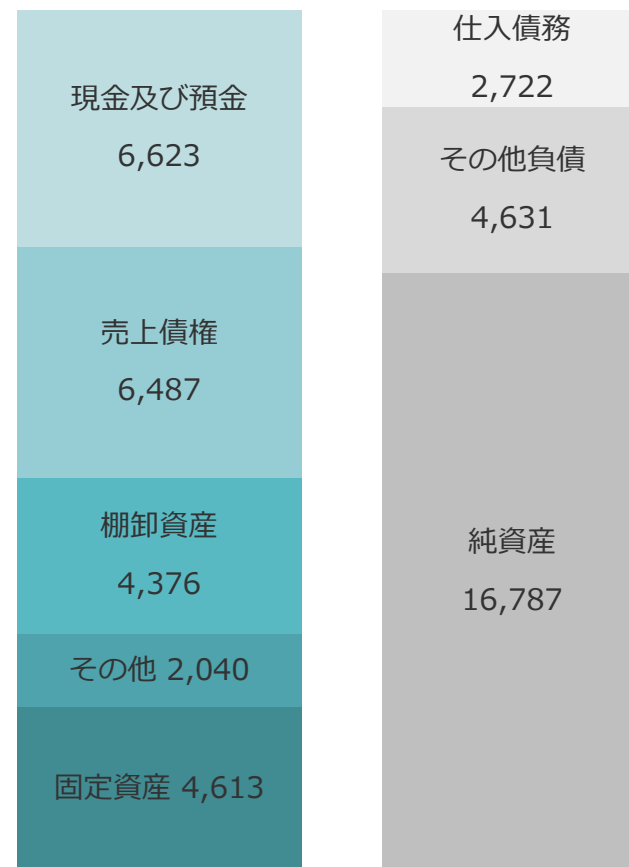
※2025年6月1日に普通株式1株につき2株の割合で分割、2025年3月期以前の配当金は分割考慮後の数値

1. エグゼクティブサマリー
2. 2027年3月期 第1四半期決算
3. 2027年3月期 通期見通し
4. Appendix

2026年3月末



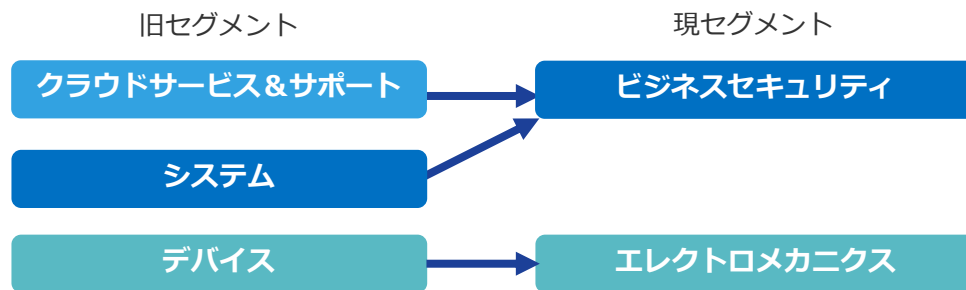
2026年6月末



(増減要因) 純資産▲806・・・配当支払▲776、当期純利益+210、
その他包括利益累計額▲239

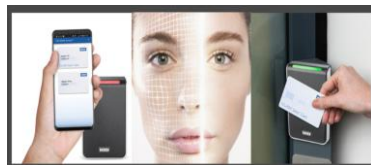
セグメントと主なプロダクト・サービス（2026年3月期 1 Q～）

■ セグメントの体系



クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたため、ターゲット市場の明確化を目的としてセグメントを統合し、名称を変更

ビジネスセキュリティ



入退室管理システム



顔認証システム



クラウド型無線LAN

リテール

- 商品監視(万引き防止)システム
- 監視カメラシステム、顔認証システム
- クラウドサービス
- RFIDシステム

グローバル

- 防火システム

ビジネス

- 入退室管理システム、監視カメラシステム
- メーリングシステム
- クラウドサービス
- ネットワーク製品

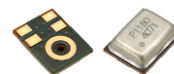
保守

- ビジネスセキュリティセグメントが提供する商品の保守サービス

エレクトロメカニクス



電源モジュール



シリコンマイク



ソフトクローズ

エレクトロニクス

- 半導体・IC / 電子部品・センサ
- 各種モジュール

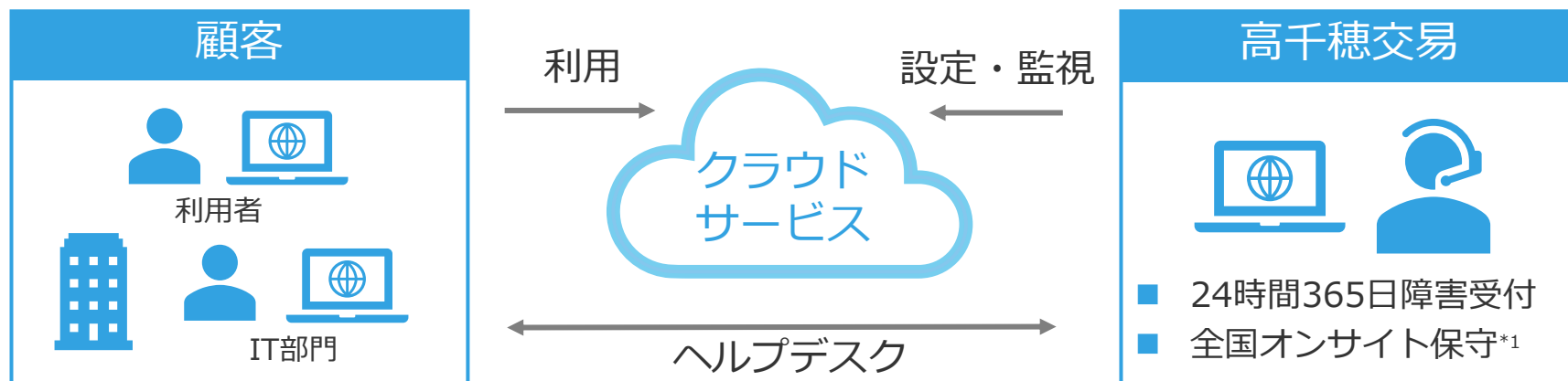
メカニクス

- スライドレール / ガススプリング
- ソフトクローズユニット / 電子錠

MSPサービス概要

MSP（Managed Service Provider）サービスとは

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視業務をアウトソーシングできるサービス



主なMSPサービス対象製品



『クラウド型無線LANシステム』とは？

無線LANアクセスポイントを
クラウド上で管理

- ✓ クラウド上で利用状況を可視化
- ✓ 導入や故障時の対応が簡単・早い
- ✓ 設定・監視のアウトソーシングが可能

MSPサービス料金形態

（１）～（３）を一体型のサービスとして月額払いで提供*2

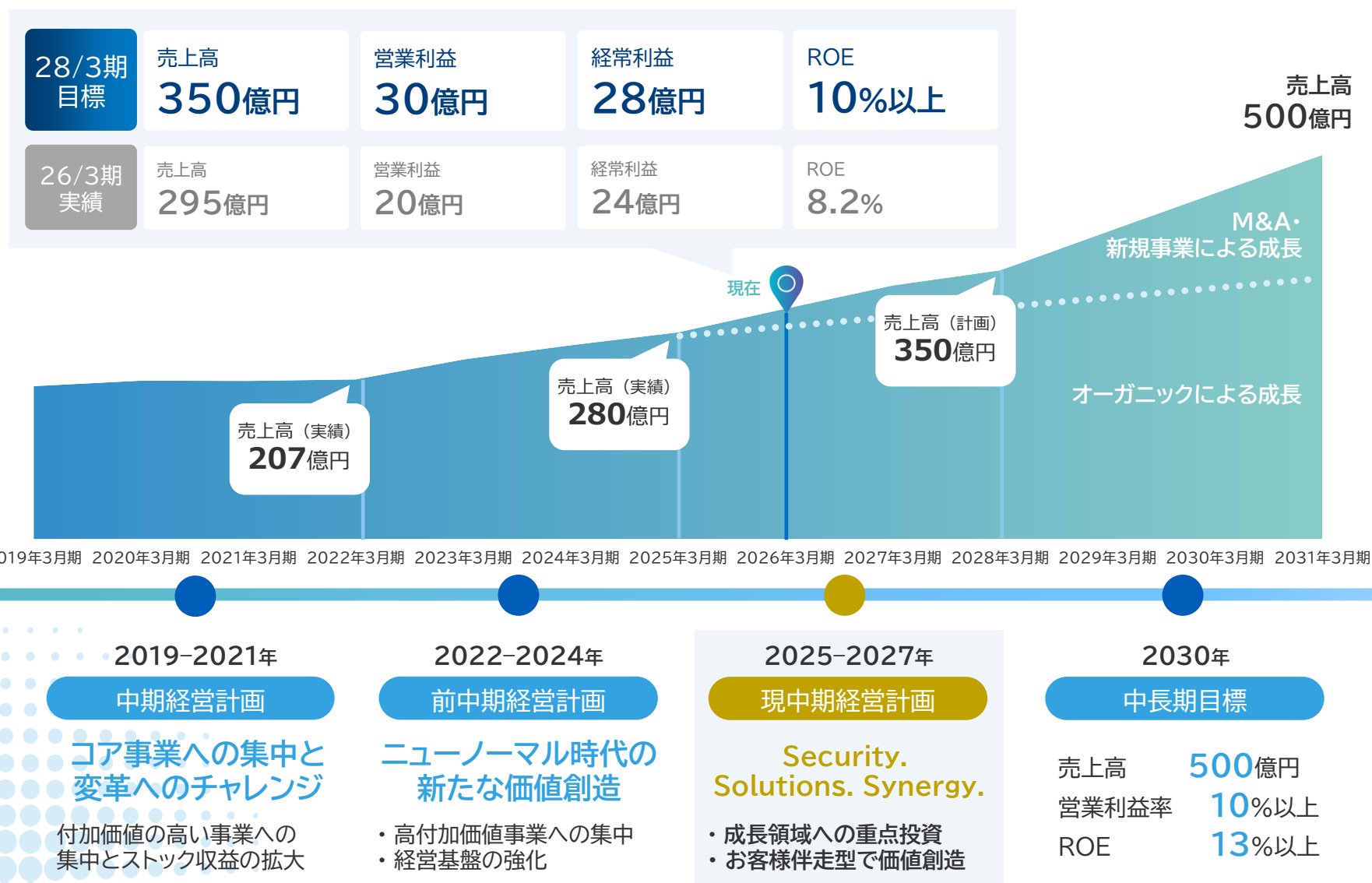
- （１） 機器代
- （２） クラウドサービスライセンス料
- （３） 保守料

*1 一部エリアを除く

*2 ① 機器代のみ一括払い可能

中長期の成長イメージ

中期経営計画の詳細は[こちら](#)をご参照ください



データセンター向けに入退室・監視カメラシステムの受注、売上高好調 中計最終年度の受注残が6割超

データセンター向け売上

既に計画の6割超を受注済み
更なる上積みを狙う

中計最終年度に
売上高2倍超を計画

6割超
を受注済

2025年3月期

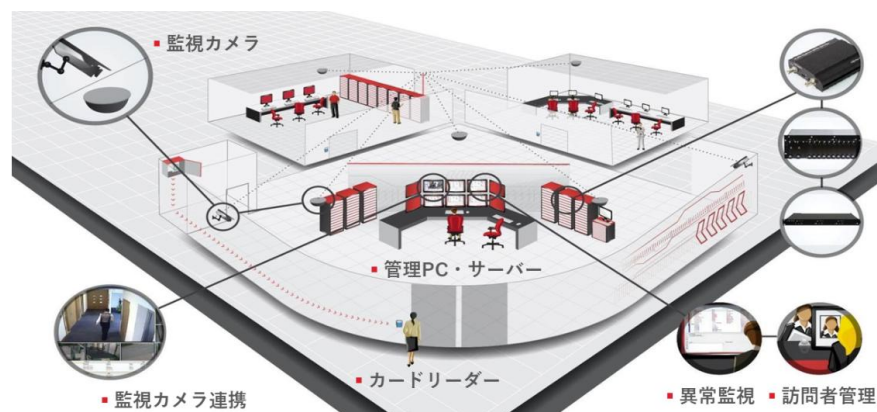
2028年3月期

(計画)

当社が外資系データセンターに強い理由

1. 外資系企業はセキュリティポリシーを世界中の拠点で統一することが多く、**世界のトップメーカー製品を取扱う当社に優位性**
2. 日本に進出する主な外資系データセンター**十数社のうち、3割超が取引あり**
3. 過去5年間の実績が評価され、**サブコンや設計会社との強固なリレーションを構築済**

データセンターにおける利用イメージ



世界初のランサムウェア対策プラットフォーム「halcyon」を、2025年6月より日本で初めてサービス提供開始

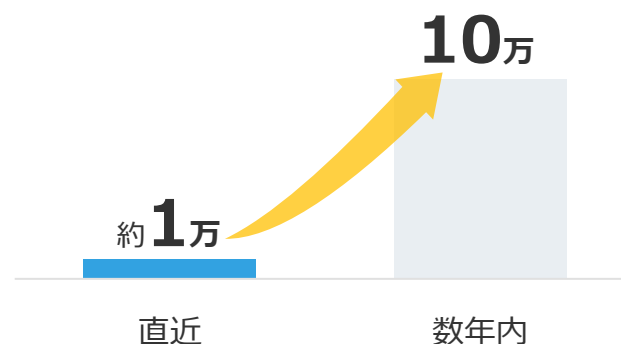
halcyonの概要

- ランサムウェア攻撃によるデータ流出や二重恐喝を防止するサービス、ランサムウェアがデータを暗号化する際に使った**暗号鍵を複製することで感染後も迅速なデータ復旧が可能**
- **700以上の組織、200万台を超えるデバイスを保護**し、2024年には**ユニコーン企業**の仲間入り
- 今話題のランサムウェア攻撃グループ「**Qilin**」**撃退の実績があり**、当社への引き合いが増加
製造業を中心に複数の受注を獲得、**直近では1万ライセンスの大型案件を獲得**
- **数千ライセンス**の獲得に向けた商談が進行中、**数年内に100社、10万ライセンス**の導入を目指し、サブスクリプション型ビジネスの拡大を図る

halcyonの優位性

	halcyon	EPP	EDR/XDR	Backups
脅威防御エンジン	✓	✓	✗	✗
ランサムウェアふるまい検知エンジン	✓	✗	✓	✗
暗号鍵のキャプチャ	✓	✗	✗	✗
他社セキュリティツールの無効化監視	✓	✗	✗	✗
バックアップの保護	✓	✗	✗	✗
暗号化されたファイルの復号化	✓	✗	✗	✗
データ不正流出防止(DXP)	✓	✗	✗	✗
インシデント後の復旧時間の短縮	✓	✗	✗	✓

ライセンス数を数年で10倍に増やす



会社概要



会社名	高千穂交易株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長執行役員 井出 尊信
従業員数	連結459名、単体250名（2025年3月31日時点）
連結子会社	国内1社、海外8社（上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ）



本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

 ir@takachiho-kk.co.jp

 03-3355-1201

IR News Mail



note